

● 研究開発について

問7 貴社では、これまでに研究開発や製品開発等を実施したことがありますか。

(いずれかに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

以下問8～17は、問7で「1. ある」と回答された方にお伺いします。

(問7で「2. ない」と回答された方は、p.4の問18までお進みください。)

問8 貴社の研究開発等に係る組織体制について、お答えください。(いずれかに○)

1. 専任部署がある	2. 他部署に含まれている
3. 該当部署はない	4. その他()

問9 現在の研究テーマの数(外部との共同研究等を含む)と研究費について、5年程度前と比較した変化及びその理由をお答えください。

項目	5年程度前との比較 (いずれかに○)	増減の理由 (左で「3. 変わらない」以外を回答された方) (○は複数可)
研究テーマの数	1. 増加 2. やや増加 3. 変わらない 4. やや減少 5. 減少	1. 企業経営(売上等)による増減 2. 組織体制の変更による増減 3. 研究開発人材の増員または減員による増減 4. 取扱製品分野の拡大または縮小による増減 5. その他()
研究費	1. 増加 2. やや増加 3. 変わらない 4. やや減少 5. 減少	1. 企業経営(売上等)による増減 2. 組織体制の変更による増減 3. 研究開発人材の増員または減員による増減 4. 取扱製品分野の拡大または縮小による増減 5. その他()

問10 現在の研究テーマの数(外部との共同研究等を含む)と研究費について、今後の見通しをお答えください。(いずれかに○)

項目	5年程度先の見通し				
研究テーマの数	1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
研究費	1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少

問 11 研究開発の対象分野について、「現在取り組んでいる分野」、「今後取り組みたい分野」を3つまでお答えください。 (〇は3つまで)
(それぞれ、回答欄下の対象分野の該当する数字を記入)

現在取り組んでいる分野			
今後取り組みたい分野			

※「今後取り組みたい分野」は、「現在取り組んでいる分野」と重複しても結構です。
<研究開発の対象分野>

- | |
|---|
| 1. 環境・リサイクル・エネルギーなどに関する分野
2. 自動車や航空・宇宙などに関する分野
3. 高機能材料、加工・接合・造形技術などに関する分野
4. ロボットやAI・IoT・ビッグデータの開発・活用などに関する分野
5. 食品や医薬、健康長寿などに関する分野
6. 繊維、窯業、生活産業などに関する分野
7. その他 ()
8. わからない |
|---|

問 12 現在抱えている研究開発における課題について、3つまでお答えください。
(〇は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 研究開発の戦略や方針の設定、テーマ選定が困難
2. 研究開発のための資金の不足
3. 研究開発を担う人材やマネジメント人材の不足
4. 研究開発のための場所や機械・測定装置等の設備の不足
5. 研究や技術に関する情報入手が困難
6. グローバルレベルの研究開発の優位性や革新性を見極め(ベンチマーキング)が困難
7. 研究開発から製品化・事業化までの円滑な移行が困難
8. その他 ()
9. 特にない |
|---|

問 13 これまで外部機関(大学、公的研究機関、企業)との連携及び活用によって、研究開発や製品開発等を実施したことはありますか。 (いずれかに〇)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

以下問 14~17 は、問 13 で「1. ある」と回答された方にお伺いします。
(問 13 で「2. ない」と回答された方は、p.4の問 18までお進みください。)

問 14 共同研究を実施したことがある外部機関について、お答えください。 (〇は複数可)

- | | | | |
|------------|-------------|---------|-------------|
| 1. 国内大学 | 2. 国内公的研究機関 | 3. 海外大学 | 4. 海外公的研究機関 |
| 5. その他 () | | | |

問 15 現在又は過去に外部機関との連携内容について、お答えください。 (○は複数可)

- | |
|---|
| 1. 自己資金による大学・公設試験研究機関との共同研究
2. 自己資金による他企業との共同研究
3. 国・地方自治体等からの外部資金による産学行政連携プロジェクト
4. 民間企業・団体からの外部資金による産学連携プロジェクト
5. その他 () |
|---|

問 16 これまでの外部機関との連携・活用成果について、お答えください。 (○は複数可)

- | |
|---|
| 1. 事業化や特許取得に至った
2. 技術課題が解決できた
3. 研究機器等の取扱技術が向上した
4. 他社等とのネットワークを形成できた
5. 職場が活性化し、社員の意識が変化した
6. 特に成果はなかった
7. その他 () |
|---|

問 17 外部機関との連携・活用における問題点について、3つまでお答えください。
(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 相手方となる機関、研究者及び研究開発活動に関する情報の不足
2. 相手方の要望に対応できる研究者や技術者の不足
3. 研究経費の負担割合の方針・考え方の違い
4. 共同研究等を行う場所の不足
5. 研究成果の事業化・起業化や知的財産の帰属・利用に関する方針・考え方の違い
6. その他 ()
7. 特にない |
|---|

すべての方にお伺いします。

問 18 研究開発における外部機関との連携・活用について、今後のお考えをお答えください。
(いずれかに○)

※共同研究や研究プロジェクトの経験有無に応じたどちらか一方にお答えください。

どちらか一方に回答	共同研究や研究プロジェクトの経験が“ある”方	1. これまで以上に共同研究等に取り組みたい 2. 現状の取組のレベルを維持したい 3. 現状の取組のレベルよりも縮小したい 4. その他 ()
	共同研究や研究プロジェクトの経験が“ない”方	1. 今後は積極的に共同研究等に取り組みたい 2. 共同研究等にすぐに取り組むつもりはないが、情報は収集したい 3. 共同研究等に関する公的機関の斡旋等があれば検討する 4. 当面の間取り組むことは考えない

問 19 問 18で「1～3」と回答された方にお伺いします。

今後、共同研究の実施を検討している外部機関をお答えください。 (○は複数可)

- | |
|--|
| 1. 国内大学
2. 国内公的研究機関
3. 海外大学
4. 海外公的研究機関
5. その他 () |
|--|

● 知的財産について

知的財産に対するの貴社の状況について

問23 貴社では、現在、権利化した知的財産を保有していますか。 (いずれかに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 保有している | 2. 保有していない |
|-----------|------------|



問24

問20-1 どのような知的財産権を保有していますか。(○は複数可)	問20-2 保有していない理由をお答えください。(○は複数可)
1. 特許権 (国内) 2. 特許権 (海外) 3. 意匠権 (国内) 4. 意匠権 (海外) 5. 商標権 (国内) 6. 商標権 (海外) 7. その他 ()	1. 出願して取得できるような知的財産がない 2. 権利化や管理にコストがかかる 3. 権利化に伴う知的財産の公開を避けたい 4. 権利化しても利用価値が見いだせない 5. 下請なので取引先に配慮して権利化することを避けている 6. 知財に通じた人材や信頼できる相談先がない 7. その他 ()

問25 知的財産についての戦略や計画等について、お答えください。 (○は複数可)

- | |
|--|
| 1. 経営戦略や技術開発計画の一環として位置付けている
2. 特許出願方針を定めている
3. 営業秘密 (ノウハウ) 管理のガイドラインを定めている
4. 職務発明規程を定めている
5. その他 ()
6. 特に定めていない |
|--|

問26 知的財産に関する社内人材について、お答えください。 (いずれかに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 専任の担当者を置いている | 2. 経営者が兼務している |
| 3. 開発・総務・法務などの担当者が兼務している | 4. 外部の専門家に任せている |
| 5. 社内外とも担当者は置いていない | 6. その他 () |

近年、知財戦略の重要性が広く認識され始めています。特にグローバルな市場へ進出する際や、他社との協業においては、戦略的に知財の活用が求められます。知財戦略がない、または適切でなかった場合には、本来得られるべき利益を失ってしまうことも考えられます。貴社の知財戦略についてお伺いします。

問27 貴社における知財戦略について、お答えください。 (いずれかに○)

- | |
|--|
| 1. 有効な知財戦略があり、経営に活かされている
2. 知財戦略はあるが、有効に機能していない
3. 知財戦略はない
4. 知財戦略があるのかどうかわからない
5. その他 () |
|--|

問28 有効な知財戦略の策定にあたっての課題について、お答えください。 (○は複数可)

1. 社内の知財に対する理解度が低い
2. 知財に精通した人材がない
3. 外部人材を活用する資金の不足
4. 現在の事業の状況では知財戦略は必要ではない
5. その他 ()
6. 特にない

問29 有効な知財戦略の策定にあたって愛知県に期待する施策・支援策について、お答えください。
(○は複数可)

1. 経営者、現場技術者、営業担当等への啓発セミナーの開催
2. 知財担当者向け実務研修
3. 知財戦略立案のための伴走支援
4. 外部人材活用のための資金援助
5. その他 ()
6. 特にない

問30 知財を取得する際の課題について、お答えください。 (○は複数可)

1. 知的財産による企業活動への効果、経営面への有用性に対する社内の認識が低い
2. 知的財産に関する情報・知識の不足
3. 知的財産を管理・活用する人材の不足
4. 知的財産の出願等に要する活動資金の不足
5. 知的財産を創出するための時間の不足
6. その他 ()
7. 特にない

問31 知財を取得するにあたり愛知県に期待する施策・支援策について、3つまでお答えください。
(○は3つまで)

1. 経営者、現場技術者、営業担当等への啓発セミナーの開催
2. 知財担当者向け実務研修
3. 知財取得に係る資金助成
4. 知財取得に係る事務手続き支援
5. 知財取得に係る技術情報調査支援
6. 知財取得に係る伴走支援
7. 知財に関する相談窓口の設置、訪問相談の実施
8. その他 ()
9. 特にない

問32 保有する知財の活用（権利の行使：ライセンス、侵害訴訟等）について、お答えください。
（いずれかに○）

1. 知財の活用をしたことがある
2. 知財の活用を検討したことがあるが、活用したことはない
3. 知財の活用をしたこともなく、検討したこともない
4. 知財を保有していない → 質問は以上です

問33 保有する知財を活用する際の課題について、お答えください。（○は複数可）

1. 社内の知財に対する理解度が低い
2. 知財に精通した人材がない
3. 外部人材を活用する資金の不足
4. 現在の事業の状況では知財を活用できる場面がない
5. その他（)
6. 特にない

問34 保有する知財を活用するにあたり愛知県に期待する施策・支援策について、3つまでお答えください。（○は3つまで）

1. 経営者、現場技術者、営業担当等への啓発セミナーの開催
2. 知財担当者向け実務研修
3. 知財活用にあたっての伴走支援
4. 外部人材活用のための資金援助
5. その他（)
6. 特にない

問35 他企業や大学等の開放されている特許の活用について、関心がありますか
（いずれかに○）

1. 既に活用している
2. 関心はあるが、活用していない
3. 関心はない

問36 開放特許の活用を進める上での課題について、お答えください（○は複数可）

1. どのような特許が開放されているのか分からない
2. 外部との交渉・契約手続きなどに不安を感じる
3. 開放特許活用についての理解が十分でない
4. その他（)

● デザイン経営について

デザインの手法を企業経営に取り込むことが、企業のブランド力やイノベーション力向上に有効であるとの考えが広まってきています。デザイン経営について、貴社のお考えをお伺いします。

問 37 デザイン経営に関心がありますか。 (いずれかに○)

1. 既に実践している
2. 関心はあるが、実践できていない
3. 初めて聞いた
4. 関心はない

問 38 デザイン経営の実践をする上での課題について、お答えください。 (○は複数可)

1. デザイン経営の進め方がわからない
2. デザイナー活用のノウハウが不足している
3. デザイン経営の導入について社内の理解が得られない
4. その他 ()

問 39 デザイン経営の実践をするにあたり、愛知県に期待する施策・支援策について、3 つまでお答えください。 (○は3つまで)

1. 経営者、現場技術者、営業担当等への啓発セミナーの開催
2. デザイン経営に関する相談窓口の設置、訪問相談の実施
3. 自社のニーズに応じたデザイナーの紹介・派遣
4. その他 ()
5. 特にない

～質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。～